



槻の若木

創造～今日から5年後の自分へ～

校長 松戸 政世史

季節は新緑のときを迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の変異株拡大防止のため、東京都の緊急事態宣言に合わせて、埼玉県でも蔓延防止等重点施策が強化されています。若い年代も感染しやすく、重症化の割合も高くなっています。教育活動は継続できますが、昨年度に比べて、より慎重な行動が求められています。生徒の皆さんも、コロナ感染症に対する1年間の経験を生かして、ゴールデンウィークなど、自宅での自粛に工夫をし、互いの感染防止に努めてください。私たちも、皆さんと共に頑張りますので、保護者、地域の方々の御理解、御協力も宜しくお願いいたします。

さて、皆さん、**5年後の自分**を考えてみてください。1年生から3年生までの全員が、年代で言えば、大学生1年生から3年生の代になろうとしています。**その時に進学している大学や就職している会社が、「今日」の皆さんの思いにつながっている。**つまり、「今日」の自分が、**5年後の自分**をつくっているということです。現在、新型コロナウイルス感染症に対して、医療従事者を中心に、力を合わせて必死に対応していますが、社会の現状は、様々な課題を抱えています。幾例かを皆さんと考えたいと思います。①医療現場のひっ迫した状況が、毎日報道されています。日本は、規模の小さい民間病院が多く分散していますが、このような緊急時に、医師や医療スタッフの力を結集させるためには、どうしたらいいのでしょうか。また、②マスクを外す場面の感染対策として、飲食店での酒類の提供など制限が求められています。5年後の飲食店は、高機能換気設備やオープンテラス、デリバリーなど、どのような形態が創造できますか。もちろん、土地代や設備投資のコストを考えなければなりません。例①では、ニュースでも取り上げられていましたが、「医師や看護師になって、患者さんを救いたい」という若者も増えています。また、例②では、余ってしまった食材を通販で販売し、飲食店などを救おうとする動き等も見られます。そのような多くの人々の活動が、日本を救うことになることは明らかですが、さらに、皆さんには、**5年後を『創造』**してもらいたい。教育におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）は、始まったばかりです。皆さんが社会を動かす原動力となって、オンライン診療やテレワーク、新たな食品流通による消費形態、分散型エネルギーなどの多くの課題を解消する時代は、もうすぐです。そして、セキュリティを強化しながら、高齢者も当たり前のように、IT（インターネット・テクノロジー）を利用する社会が訪れ、次のパンデミックに備え、感染症拡大防止や早期発見のための日常的なサービスが、提供される社会を創造し実現してください。働く環境や職業、仕事の性質の変化、仕事に必要なスキルや特性、資格などの予測が困難な時代ですが、今後の高校生活や大学生活では、アントレプレナーシップ（起業家的な、ビジネスを立ち上げる能力を育む教育）などが、ますます推進され、5年後の近未来へ皆さんを導くことでしょう。

最後に、ゴールデンウィークには活動が制限され、自宅で過ごすことになると思いますが、私からは『読書』を勧めます。本からは、①ストレスの発散ができます。緊張とリラックス、ONとOFFの切り替えをしながら、自分自身をコントロールすることで、この緊急事態を乗り切ることができます。②様々な知識を得ることができます。前述のように、自分が創造した近未来を提示してくれる本に出会うこともあるでしょう。読書など、基本的な生活習慣を保ちながら、感染予防のため、「3密（密集、密接、密閉）」を避け、「マスク着用」や「手洗い・咳エチケット」の3つの基本を徹底し、休み明け、心身共に元気よく登校することを願っています。